



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 バヌアツ共和国・タンナ島

期間 2016/07/06~18 (本隊活動期間 10~18)

参加メンバー



上部写真左から 小西(Dh) 井口(Dr) 沢田(Dr) 伊藤(Dr) Hinata(V) 川本(Dr) Russel (首都VCH Dr) 大西(Dh) 関根(Dr)

Dr:歯科医師/Dh:歯科衛生士/V:ボランティア/VCH:Villa Central Hospita

活動内容

2016. 7. 6. ~18 (本隊活動期間10~18)

バヌアツ共和国歯科医療ボランティア活動報告

2016. 7. 6. ~7日雨(シドニー)

前乗り組メンバー(小西、井口大阪組/伊藤、Hinata、川本東京組)が羽田空港で合流後、JDM本部からの活動物資、医療器具など6点の荷物を受け取り、無事にチェックイン。

今回は、荷物制限の超過無くスムーズにシドニー便に乗り込むことができた。

事前に、旅行代理店担当者様よりシドニーからポートビラまでの乗継便が、遅延出発するとの報告があり、シドニーで8時間程の待ち時間が生じることとなった。

24時間かかってポートビラに到着。フライト遅延にも関わらず現地保健省のRory氏と現地VCH歯科医師Russel氏が空港で出迎えて頂き、ホテルまで心良く送迎して頂いた。

PM10時にメラネシアンホテルに到着。長時間のフライトで皆疲れ、明日に備え即就寝。



8日晴れ

午前中は、日本の支援で設立された首都ポートビラの総合病院VCH(Villa Central Hospital)の見学。

首都ポートビラの歯科の現状を知る。また、JDMより持参したドネーションを心良く受け取って頂いた。

診療ユニット2台でDr3~4名で約50人/日を診療しているとのこと。主な診療内容は、抜歯、充填処置、義歯製作などである。機材に限界があり他の治療メニューを増やすことは困難である様子。遠方から来られる患者も多く抜歯によって痛みだけでも改善してあげることができることも大きな意味があると現地Drは言う。

今、VCHの歯科で必要なものは何か?と聞くと『患者の待ち時間が長く、待ち時間に眠つぶしできるようなTVシステムや予防プレゼンテーションできるようなプロジェクターなどのシステム環境が欲しいとのことであった。

なかなか、歯科への予算配分が少なく、スムーズに機材を購入できる状況では無いようであるとのこと。

材料に関しては、ニュージーランドから期限切れの材料を支援してもらっているとのこと。

また、オーストラリア・ニュージーランドなどの他国から機材を発注しても、直ぐには届く環境に無く困ることもあるとのこと。

JICAより派遣されている医療機器の修理担当のエンジニア：上田さんとVCHでお話できる機会があり、医療機器の修理の状況やJICAの活動、現地での生活など興味深く聞かせて頂いた。

午後は、現地保健省のRory氏の案内でNCD(Non communicable disease:非伝染性疾患)の予防推進パレードに参加。パレード参加者と共に、ビュッフェスタイルでのランチをした。

その後、JICA 上田さんの案内でセントラルマーケットなど街中を散策し、ホテルまで歩き休憩をとり、JICA 上田さんと名産であるバナアツ牛ステーキを夕食で頂いた。



9日晴れ

エファテ島1周ツアー参加。

ブルーラグーン、ビーチ、民族村でランチ、泥湯温泉、カフェを前乗り組メンバーで満喫した。

夕食は、イタリアンレストランでパスタ、ピッツァ。



10日 晴れ

JICAのメンバー上田さんのお誘いで、ハイダウェイビーチでシュノーケリング。

JICAのメンバー4名と交流ランチ会。

JICAでのそれぞれの活動内容や活動経験を興味深く聞き、良きご縁を頂いた。

18時に、本体組の大西(Dh)ホテルに到着し前乗り組メンバーと合流。

メラネシアンホテルで夕食。

翌日からのタンナ島での活動に向けてミーティング・事前準備をした。



11日 晴れ

AM10時の便で、タンナ島に向かい11時到着。(タンナ島北部で活動予定のオーストラリアからの医科・歯科共同のボランティア活動チームと出会う。互いの活躍を祈りあった。)

レナケルホスピタルに到着。宿舎へ移動。今回は、サンセットバンガローというバンガロータイプの宿泊施設に泊まることとなった。

昼食は、大西・小西作のバンバンジー風そうめんを頂き、その後、レナケルホスピタルへ戻り診療準備開始。

17時に宿舎へ戻る。夜は寒い。

夕食は、親子丼、味噌汁、

お湯は、出るものの、わずか10秒ほどで水に変わる。。。

なので、みんなお湯を温めて頭のみ洗う…(^-^;))

バンガローでの食事中に大西(Dh)が、蜂に刺されるも、腫れるが異常なし。逆に快調とのこと。



12日晴れ

就寝時、やや寒く、寝袋で寝る者もいた。

朝食は、パン、スープ

8時半に宿舎を出発。レナケルホスピタルの診療所の前には20名ほどすでに並んで待っていた。

9時より診療開始。

13時半時まで診療して、前の芝生で、大西(Dh)の手作りおにぎりとお茶で昼食。

14時半から午後の診療再開。17時まで診療した。

宿舎に戻り、たらこ、カルボナーラ、ミートソース、きのこ野菜の4種類のパスタ、サラミとキャベツの炒め物、生野菜、を頂いた。

星は、ものすごくきれい！！満点の星空！！南十字星超きれい！！



13日晴れ

朝食は、目玉焼きとスープパスタ、パン。8時半に宿舎を出発。

初日に比べると受診者の集まりが少ない。12時半で午前診療終了し、昨年宿泊したエバーグリーンホテルで昼食。

午前中の診療中に、コンセント差し込み口、電気系統から爆発音がして、ヒューズが飛んだ。途中診療停止したものの、コンセント差し込み口を替えて無事復旧。

午後は、14時半より、診療再開。17時で診療終了。

タンナ島で有名なヤスール火山への見学。19時半に宿へ帰宅し、夕食は、ラーメンで温まる。



14日晴れ

朝食は、チャーハン。8時半に宿舎を出発する予定だったが、迎えのトラックが来ず、徒歩でホスピタルに向かう。

開始前より、10名ほどの受診者が待っていた。後から、大西(Dh)が手作りおにぎりを持参してくれた。後組代表沢田(Dr)と関根(Dr)が首都ポートビラでの会議を終え9時半に合流。

関根(Dr)の奥様寿恵さんをご用意してくれた子供用のおもちゃ、紙飛行機、ロケット風船を関根(Dr)が持参してくれて、診療後の子供達や周辺で遊んでいる子供達にプレゼントした。とても喜んでくれて、楽しく遊んでいた。特に問題なくスムーズに診療できた。



15日晴れのち曇

朝食は、おじやとパン。ハーバービュー小学校への検診とドネーション・文化交流会のため、7時半に宿舎を出発。

8時より文化交流会・ドネーション・検診をした。

大西(Dh)は、先に診療を待つ受診者のために検診をラナケルホスピタルで行った。

他のメンバーは、ハーバービュー小学校でドネーション、検診。文化交流している大阪の竹淵(たこち)小学校との絵画を交換しあった。

途中、川本(Dr)がラナケルホスピタルでの診療に戻る。追加応援で、伊藤(Dr)がラナケルホスピタルに戻る。

11時頃に、全員ハーバービュー小学校から戻り、全員でラナケルホスピタルでの診療をした。

12時半で午後の診療を終了。

昼食は、海辺のオーシャンビューの食堂で食べた。午後は、14時から診療スタート。17時に片付けて診療終了。

宿舎へ戻る。診療最後の反省会をして今後のJDMの発展や活動の成果を願って就寝した。



活動まとめ

天候にも恵まれ、最終日まで、スタッフ全員健康に、不調にならず元気いっぱい活動できた。蜂に刺されたのが1名。

今回は、事前にJDMの活動を告知する張り紙がレナケルホスピタル内に張り出されていたことで、受診希望者が多く来られた。次回は、マーケットや街中にも事前に告知や張り紙をして頂けたらより多くの受診希望者が集まることと思う。また、学校検診へは、今回は1校のみであった。他の学校関係者の方からマーケットで声をかけられ、検診依頼を受けるが、メンバーを診療部と検診部の2つに分けられるほどの人数ではなかったようで、診療部門を優先することとなった。次回は、学校検診も多く可能になるよう活動できるメンバーが増えることを期待したい。

首都ポートビラにおいても、食生活の欧米化が進む中、歯磨きの習慣など予防への関心が薄いとJICAメンバーの保健指導教諭宮西さんがお話されていた。そして、首都での検診活動なども希望されていた。

首都ポートビラでの学校検診・予防活動の必要性やポートビラの総合病院VCH(Villa Central Hospital)の現状を知ることは大きな意義があると感じた。



診療日	12日	13日	14日	15日	合計
受診者数	51	26	48	50	175
抜歯	50	17	35	28	130
充填	12	12	28	10	62
SC	14	7	6	11	38
チェックアップ	7	0	1	0	8
人工歯装着	1	1	1	0	3
咬合調整	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	(悪性腫瘍の疑い) 1	1

※歯肉悪性腫瘍疑いの受診者は、Russel氏を通してVCHでの受診を依頼

16日晴れ タンナ島最終日

朝食はパン

宿舎を出発し、チケットの都合上

午前便に伊藤(Dr)、Hinata(V)、代表沢田(Dr)

午後便に井口(Dr)、川本(Dr)、大西(Dh)、小西(Dh)、

翌日便に関根(Dr)がバラバラでポートビラに移動した。

メラネシアンホテルにチェックインして、各自土産を買うなり、自由行動。

夜は、JICAのメンバーの3名とJDMメンバーでハーバービューレストラン(中華料理店)で交流会をした。

明日に備えて荷作りをして就寝。

17日雨のち曇り時々晴れ

早朝より、6名のメンバーでブルーラグーンに向かう。ターザンロープでジャンプを楽しんだ。メラネシアンホテルに戻り、昼食。

代表沢田(Dr)、関根(Dr)は、保健省のRory氏とランチミーティング。

15時45分に、メラネシアンホテルを出発し、空港へ。メラネシアンホテルにJICAのメンバー上田さんが見送りに来て頂き、またの再会と互いの活躍を祈り握手をして別れた。

空港までのバスでは、今までの活動を振り返りながら何も語らず、行き交う街並みや景色を眺めながら今回のミッションの終わりをそれぞれが感じながら時間が過ぎていった。

ポートビラの空港に到着して、17時55分のニューカレドニアヌメア行きに無事に搭乗。

18日晴れ

日本時間 AM8 時にそれぞれ、大阪組・東京組が無事に帰国の途に着く。

“今回の現地活動で知り合い、ご縁があった方達”

バヌアツ共和国保健省Rory氏

VCH(Villa Central Hospital) 歯科医師Russel氏と同僚の歯科医師、その他VCHスタッフの皆様
首都ポートビラ/メラネシアンホテルスタッフの皆様

バヌアツ共和国JICAメンバー: 上田 健史様(医療機器エンジニア), 城 和広様(小学校教諭), 宮西 麻菜様(保健指導教諭)

荒武 奈都美様(看護師), 上野 里美様(看護教員), 浅見 有香様(看護師), 情野 吉彦様(教育省/教育カリキュラム)

オーストラリア医科・歯科医療ボランティア活動チーム

タンナ島レナケルホスピタルのスタッフの皆様・タンナ島現地宿舎/ サンセットバンガローのスタッフの皆様

タンナ島ハーバービュー小学校の校長先生・教諭スタッフの皆様

バヌアツ共和国で私達 JDM の活動を歓迎して頂いた国民の皆様

“Tank yu tumas VANUATU!! 報告書担当：伊藤(Dr)”